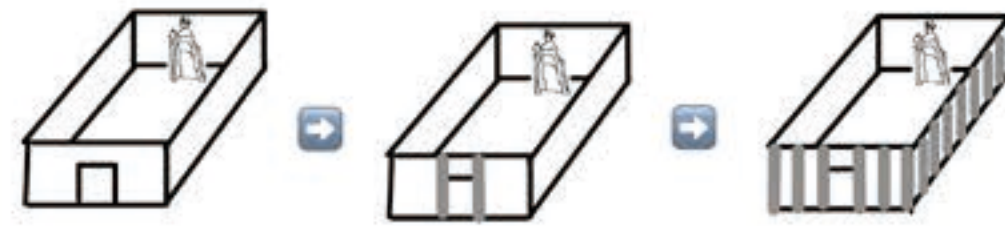


ギリシア・ローマの美術



A. ギリシアの神殿建築：柱の形式により、3つの様式がある。

・重厚な³_____式 ・優美な⁴_____式 ・繊細な⁵_____式



△アテネの¹_____神殿：守護神アテナの神殿。

ペルシア戦争後で破壊され、ペリクレスが再建。

(²_____設計、³_____式)

B. ギリシアの彫刻：3つの様式がある。ほとんど現存せず、ローマ時代の模作が多い。
コピー

オリエンタ的な
アルカイック様式



△『ランパンの騎士』

均整調和の古典様式



△『アテナ女神像』

(²_____作)

劇的、官能的な⁶_____様式



△『ミロのヴィーナス』

(ミロ島出土)



△『⁷_____』

(ローマ出土)



△『サモトラケのニケ』

(サモトラケ島出土)

(解答)

- 1 パルテノン
- 2 フェイディアス
- 3 ドーリア
- 4 イオニア
- 5 コリント
- 6 ヘレニズム
- 7 ラオコーン
- 8 アッピア
- 9 ガール
- 10 コロッセウム
- 11 パンテオン

C. ローマの公共建築。



△⁸_____街道
(ローマに通じる国道)



△⁹_____水道橋
(南フランス)



△¹⁰_____競技場
(ローマ市内の競技場)



△¹¹_____万神殿
(ローマ市内の万神殿)



△ ハドリアヌスの長城

ギリシア・ローマの文学

① ギリシア文学

a. 叙事詩：前8c、ポリス形成期に成立。オリンポス12神や英雄の物語。

希¹ _____：トロヤ戦争を描く『² _____』、続編の『³ _____』。

希⁴ _____：神々の系譜『神統記』、農民生活をうたう教訓詩『労働と日々』。

b. 叙情詩：前7c、平民の台頭期に成立。レスボス島の女流詩人⁵ _____、
恋と酒の詩人アナクレオン、オリンピア賛歌のピンダロス。

c. 演劇：前5c、アテネ全盛期、国家祭祀として毎年3月のデュオニソス祭で上演。

希⁶ _____：三大悲劇①。マラトンの戦いに参戦。ペルシア戦争を描く『ペルシア人』、ミケーネ王の悲劇『アガメムノン』。

希⁷ _____：三大悲劇②。ペリクレスの同僚。ペロポネソス戦争を指導。父殺しの運命と^{あらが}抗う男の悲劇『オイディプス』。

希⁸ _____：三大悲劇③。プロタゴラスと交流。人間をありのままに描く『王妃メデイア』『トロイアの女』。

希⁹ _____：喜劇詩人。ペロポネソス戦争を風刺する『女の平和』、ソクラテスを風刺する『雲』。

② ラテン文学：ギリシア語文献の影響を受け、共和政末期に確立。

羅¹⁰ _____：元老院議員。反カエサル派。ギリシア語文献多数を翻訳。アントニウスに殺される。『国家論』『義務論』。

羅¹¹ _____：ガリア遠征の記録『¹² _____』は、ラテン語の名文。ポンペイウスとの戦いの記録『内乱期』。

羅¹³ _____：ローマ建国叙事詩『アエネイス』でオクタウィアヌスの帝政樹立を称える。（⇨ダンテ『神曲』）

羅¹⁴ _____：元老院議員。ゲルマン民族誌『¹⁵ _____』。アウグストゥス～ネロの『年代記』で帝政を批判。

羅¹⁶ _____：ギリシア・ローマの比較伝記集『¹⁷ _____』。（⇨シェークスピア『ジュリアス＝シーザー』）

③ 歴史

希¹⁸ _____：小アジアの出身。歴史の父。物語風の『歴史』は、ペルシア戦争の記録。

希¹⁹ _____：将軍としてペロポネソス戦争を指導。客観的、実証的な『歴史』の記録。

希²⁰ _____：ポエニ戦争に従軍。政体循環史観。『ローマ史』で複合政体のローマを賞賛。

羅²¹ _____：ロムルス王からオクタウィアヌスまでの『ローマ史(ローマ建国史)』。



△エピダウロスの円形劇場

(解答)

- 1 ホメロス
- 2 イリアス
- 3 オデュッセイア
- 4 ヘシオドス
- 5 サッフォー
- 6 アイスキュロス
- 7 ソフォクレス
- 8 アリストファネス
- 9 キケロ
- 10 カエサル
- 11 ガリア戦記
- 12 ウェルギリウス
- 13 タキトゥス
- 14 ゲルマニア
- 15 プルタルコス
- 16 対比列伝
- 17 ヘロドトス
- 18 トウキディデス
- 19 ポリビオス

ポリビオスの政体循環論

(ギリシア)



(ローマ)



ギリシア・ローマの文学

ホメロス『イリアス』

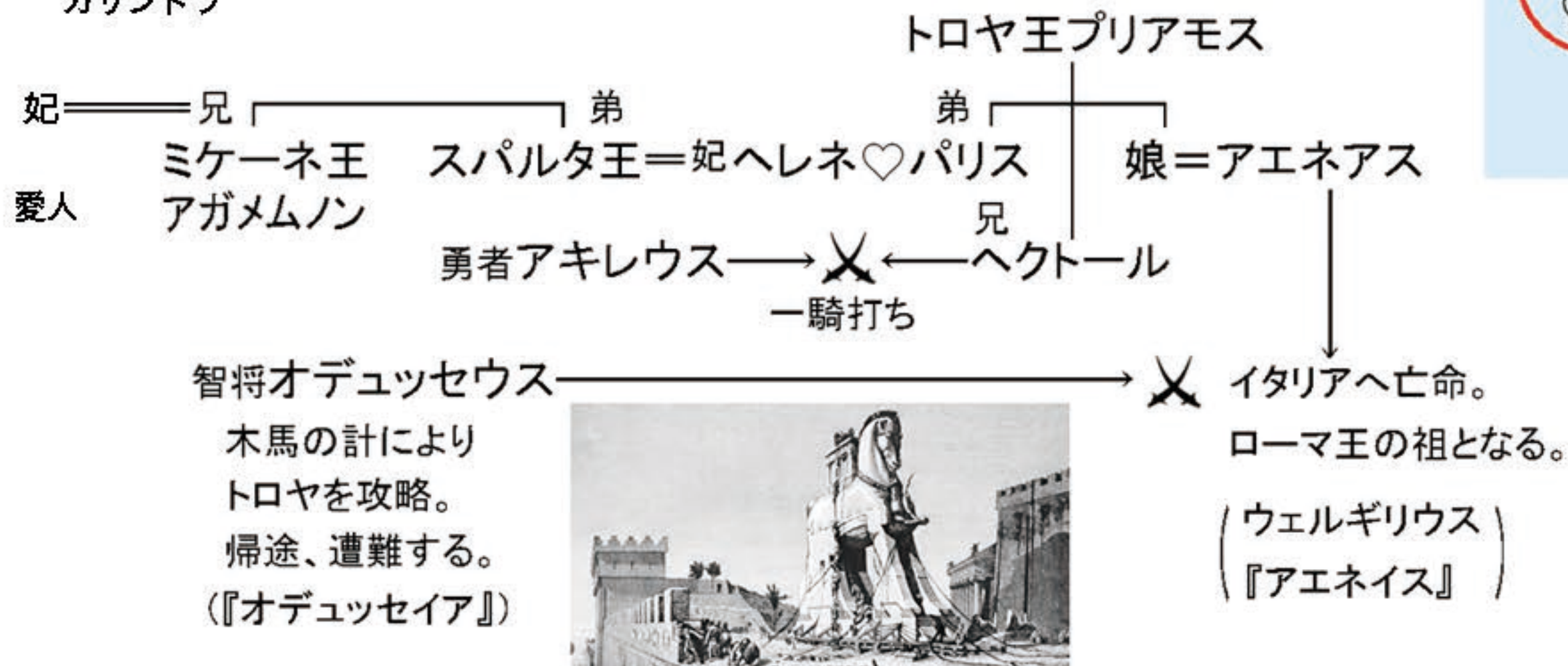
女預言者
カサンドラ



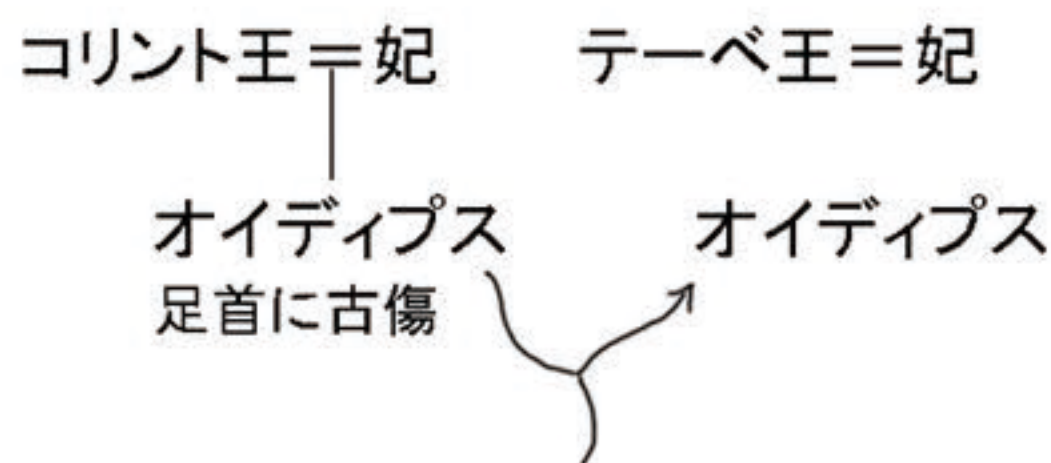
▲ ヘクトールを引き回すアキレウス



▲ トロヤ戦争



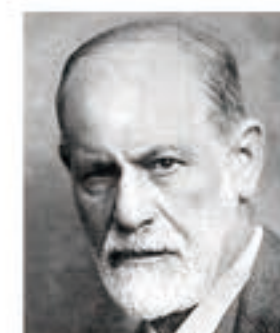
ソフォクレス『オイディプス』



アポロン神の神託
・オイディプスは父を殺し、母を妻とする。
・テーベ王は息子に殺され、妻を息子に奪われる。



▲ 老人を打つオイディプス

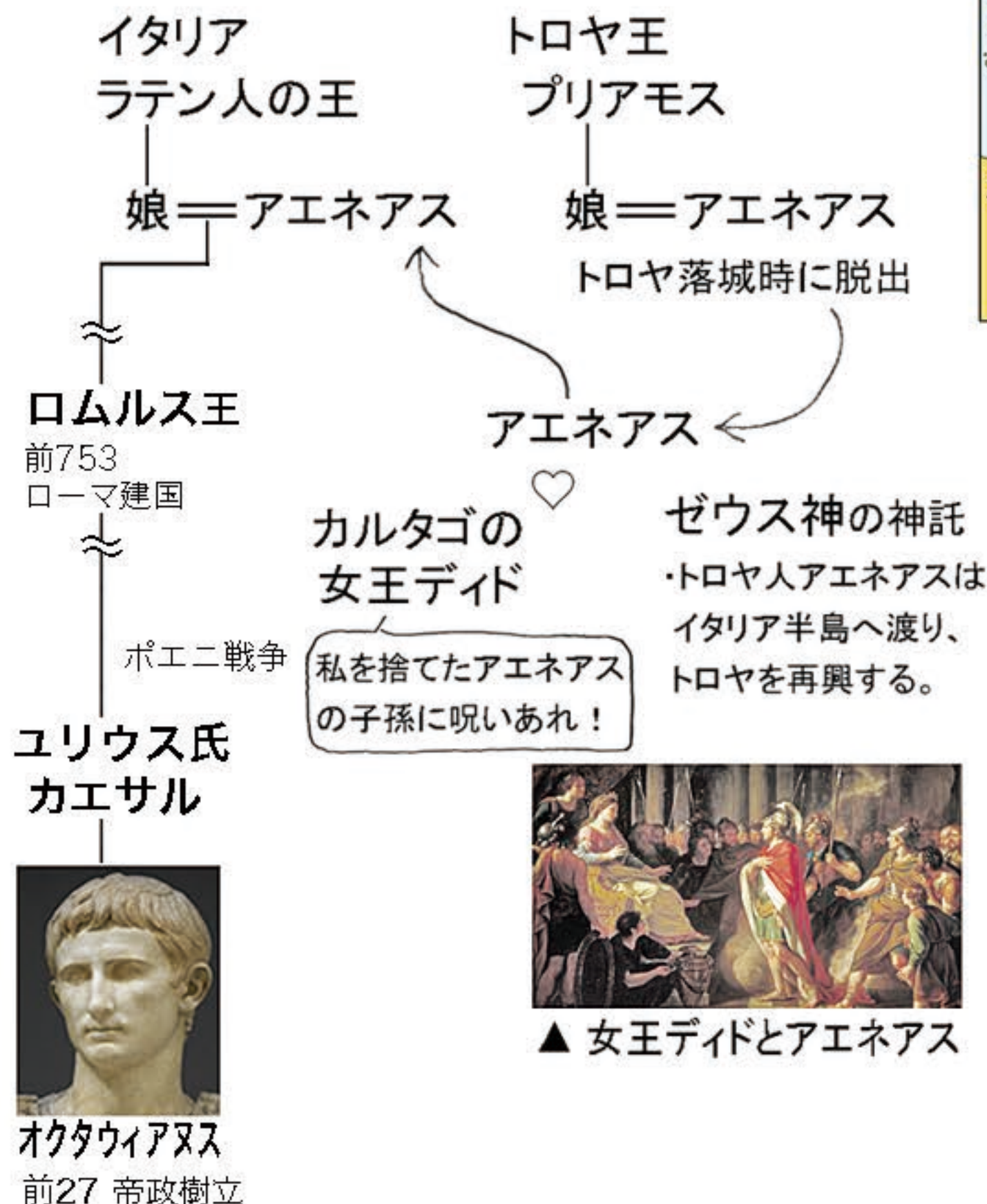


フロイト
19世紀末の心理学者。
深層心理エディプス・コンプレックスを提唱。

ウェルギリウス『アエネイス』

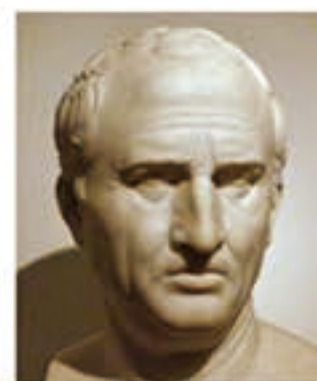


▲ アエネアスの航路



▲ 女王デイドとアエネアス

閥族派(元老院派)



キケロ

ギリシア文学をラテン語に翻訳

● プルートゥス ★

★ アントニウス



タキトゥス

『ゲルマニア』

『年代記』

で帝政を批判

平民派



カエサル

『ガリア戦記』



オクタウィアヌス



ネロ

共和政末期から元首政期のラテン文学について、以下の語句を用いて、90字以内で説明しなさい。
ウェルギリウス 『ガリア戦記』
『ゲルマニア』

ギリシア・ローマの哲学

前5c- アテネの哲学：ポリス市民の生き方を説く

希²¹ _____：ソフィスト。真理を否定。“人間は万物の尺度”

希²² _____：普遍的真理を求め、ソフィストを批判。“無知の知”

⇒「若者を惑わした」と告発され民衆裁判で有罪。毒杯をあおって死ぬ。

希²³ _____：ソクラテスの弟子。²⁴ _____論と哲人政治を説く。

アテネ郊外に私塾²⁵ _____創設。『ソクラテスの弁明』『国家論』

希²⁶ _____：アレクサンドロスの師。リュケイオン(学園)を創設。

万学の祖。『アテナイ人の国制』『政治学』

前3c- ヘレニズム時代：ポリス崩壊期の生き方を説く

希²⁷ _____：アテネの列柱廊で講義。²⁸ _____派の祖。

理性重視の禁欲主義と世界市民主義(コスモポリタニズム)

希²⁹ _____：唯物論(デモクリトス)に基く快楽主義、個人主義。

前1c- ローマ時代①：ストア派の全盛

羅³⁰ _____：ネロ帝の師で政治顧問。のち自殺を強いられる。

希エピクテトス：解放奴隷の出身。運命の受容との平静を説く。

羅ルクレティウス：唯物論。哲学詩『物の本質について』

羅³¹ _____：哲人皇帝。ギリシア語で『自省録』

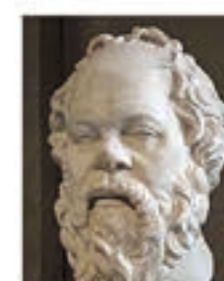
3c- ローマ時代②：神秘主義からキリスト教へ

☆新プラトン主義：神秘主義。キリスト教受容の思想的背景。

希プロティノス：超越者(神)の力の流出による世界形成を説く。

羅³² _____：マニ教からキリスト教へ。代表的な教父。

自伝『告白録』、護教書『神の国』

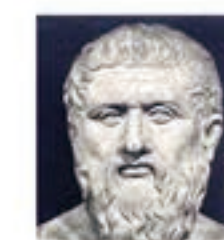
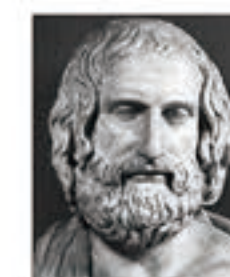


「存在する」←普遍的な真理は→「存在しない」

ソクラテス → ★ ← プロタゴラス

・無知の知
・問答法でソフィスト批判

・代表的ソフィスト
・「人間は万物の尺度」

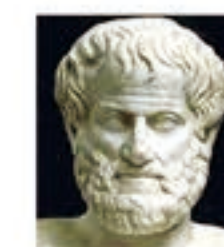


プラトン

・私塾アカデメイア
・哲人政治
・イデア論



▲ 毒杯をあおぐソクラテス



アリストテレス

・「万学の祖」
・アレクサンドロス大王の師
・私塾リュケイオン



▲ ラファエロ
「アテネの学堂」

プラトンの国家論

個人 国家
理性 知識人(哲人)

感情 民衆

プラトンのイデア論

イデア界

現実界



たま みけ とら

アリストテレスの理論

イデア界

現実界



たま みけ とら

ストア派(ゼノン)

自然 人間

理法 理性

物質 感情

新プラトン主義

創造神

イデア界

現実界

キリスト教(←ユダヤ教)

唯一神

現実界

(解答) 21 プロタゴラス 22 ソクラテス 23 プラトン 24 イデア

25 アカデメイア 26 アリストテレス 27 ゼノン 28 ストア 29 エピクロス

30 セネカ 31 マルクス=アウレリウス=アントニヌス 32 アウグスティヌス

アテネの哲学の展開について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
イデア論 ソフィスト 万学の祖

ギリシア・ローマの哲学

前5c- アテネの哲学：ポリス市民の生き方を説く

希²¹ _____：ソフィスト。真理を否定。“人間は万物の尺度”

希²² _____：普遍的真理を求め、ソフィストを批判。“無知の知”

⇒「若者を惑わした」と告発され民衆裁判で有罪。毒杯をあおって死ぬ。

希²³ _____：ソクラテスの弟子。²⁴ _____論と哲人政治を説く。

アテネ郊外に私塾²⁵ _____創設。『ソクラテスの弁明』『国家論』

希²⁶ _____：アレクサンドロスの師。リュケイオン(学園)を創設。

万学の祖。『アテナイ人の国制』『政治学』

前3c- ヘレニズム時代：ポリス崩壊期の生き方を説く

希²⁷ _____：アテネの列柱廊で講義。²⁸ _____派の祖。

理性重視の禁欲主義と世界市民主義(コスモポリタニズム)

希²⁹ _____：唯物論(デモクリトス)に基く快楽主義、個人主義。

前1c- ローマ時代①：ストア派の全盛

羅³⁰ _____：ネロ帝の師で政治顧問。のち自殺を強いられる。

希エピクテトス：解放奴隷の出身。運命の受容との平静を説く。

羅ルクレティウス：唯物論。哲学詩『物の本質について』

羅³¹ _____：哲人皇帝。ギリシア語で『自省録』

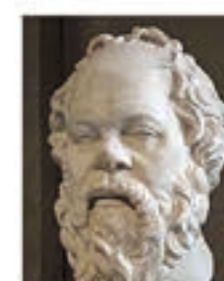
3c- ローマ時代②：神秘主義からキリスト教へ

☆新プラトン主義：神秘主義。キリスト教受容の思想的背景。

希プロティノス：超越者(神)の力の流出による世界形成を説く。

羅³² _____：マニ教からキリスト教へ。代表的な教父。

自伝『告白録』、護教書『神の国』

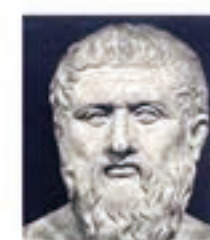
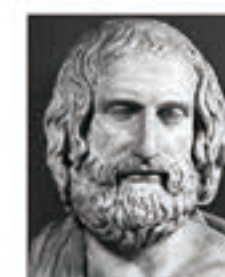


「存在する」←普遍的な真理は→「存在しない」

ソクラテス → ★ ← プロタゴラス

・無知の知
・問答法でソフィスト批判

・代表的ソフィスト
・「人間は万物の尺度」

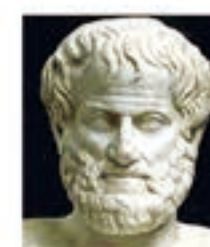


プラトン

・私塾アカデメイア
・哲人政治
・イデア論



▲ 毒杯をあおぐソクラテス



アリストテレス

・「万学の祖」
・アレクサンドロス大王の師
・私塾リュケイオン



▲ ラファエロ
「アテネの学堂」

プラトンの国家論

個人 国家
理性 知識人(哲人)

感情 民衆

プラトンのイデア論

イデア界

現実界



たま みけ とら

アリストテレスの理論

イデア界

現実界



たま みけ とら

ストア派(ゼノン)

自然 人間

理法 理性

物質 感情

新プラトン主義

創造神

イデア界

現実界

キリスト教(←ユダヤ教)

唯一神

現実界

(解答) 21 プロタゴラス 22 ソクラテス 23 プラトン 24 イデア

25 アカデメイア 26 アリストテレス 27 ゼノン 28 ストア 29 エピクロス

30 セネカ 31 マルクス=アウレリウス=アントニヌス 32 アウグスティヌス

アテネの哲学の展開について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
イデア論 ソフィスト 万学の祖

中世ヨーロッパの文化

☆民族大移動の時代。

羅教父エウセビオス：ニケーア公会議を指導。キリスト教で帝権を権威付け(神寵帝理念)。



羅教父¹_____：ヒッポの司教。キリスト教神学を確立。

- ・『告白録』：ギリシア哲学(新プラトン主義)と²_____教からキリスト教へ。
- ・『神の国』：³_____族の包囲下、異教徒の非難に対しキリスト教を擁護。

4c末 ギリシア語の『新約聖書』をヒエロニムスが⁴_____語訳(共通訳)⇨16c ルターがドイツ語訳。

☆9c ⁵_____ = ルネサンス：カール大帝時代のラテン文化の復興。

英神学者⁶_____が指導。教会付属学校(スコラ)でラテン語教育。

英神学者アインハルト：フランクの歴史家。『カール大帝伝』

quidam nomine x
defiliabus Aaron
iusti ambo antedm
カロリング小文字

☆12世紀ルネサンス：イベリア半島のトレドやシチリア島のパレルモで、アラビア語文献がラテン語訳される。

⇨アリストテレス哲学(イブン=ルシュドが注釈)、エウクレイデス(ユークリッド)幾何学、イブン=シーナーのアラビア医学。

☆大学(Universitas)：教授組合・学生組合として成立、人事権・学生に対する裁判権など自治権を持つ。

- ・⁷_____：一般教養。ラテン語文法・修辞・弁証
(Liberal Arts) 算術・幾何・天文・音楽。
- ・専門科目：神学・法学・医学・人文(哲学)の4学部。
- ・神学：聖書研究。英⁸_____大学ソルボンヌ校、
英⁹_____大学(⇨ケンブリッジ大学が分離)
- ・法学 ローマ法の研究。北伊¹⁰_____大学が最高権威。
- ・医学：アラビア医学。南伊¹¹_____大学が最高権威。



- A ボローニャ大学
⇒ローマ法の研究
- B サレルノ大学
⇒アラビア医学
(『医学典範』)

(解答) 1 アウグスティヌス 2 マニ 3 ヴァンダル 4 ラテン 5 カロリング 6 アルクイン

7 自由七科(七自由学科) 8 パリ 9 オックスフォード 10 ボローニャ 11 サレルノ

23 ビザンツ 24 ハギア=ソフィア 25 サン=ヴィターレ

☆²³_____式。

：円屋根(ドーム)とモザイク画。



▲希²⁴_____聖堂

(コンスタンティノープル)



▲伊²⁵_____聖堂壁画

(ラヴェンナ)



▲伊サン=マルコ聖堂

(ヴェネツィア)

☆スコラ学：中世の神学。信仰と理性の対立を招き、普遍論争を引き起こす。

- ・¹² 論：“普遍”の实在を学問で証明。 ・¹⁴ 論：学問と信仰を分離。

英¹³ : 11-12c スコラ学の父。

カンタベリ大司教。ノルマン朝の王と叙任権闘争。

仏¹⁵ : 12c 唯名論を説き異端宣告。

『然りと否』、弟子エロイーズとの“愛の書簡”



伊¹⁶ : 13c パリ大学でアルベルトゥス=マグヌスにアリストテレスを学ぶ。

- ・『¹⁷』：聖書とアリストテレス、实在論と唯名論の統合を試みる。
- ・『対異教徒大全』：理性を通じたイスラーム教徒・ユダヤ教徒との対話の試み。

英¹⁸ : 13c オックスフォードで錬金術・天文学を研究、地球球体説。“驚異博士”

英¹⁹ : 14c オックスフォードで論理学を研究。「オッカムの剃刀」

☆文学：吟遊詩人(トゥルバドール)が口語で伝承、11-13cに完成。

独『²⁰』

：英雄ジークフリートの暗殺と妻の復讐、
フン人の侵攻、ブルグント王国の滅亡。

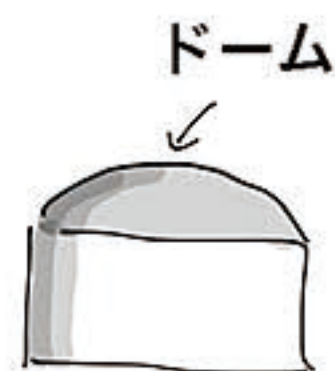
仏『²¹』

：カール大帝のイベリア遠征と
：忠臣ローランの死を描く騎士道物語。

英『²²』

：ケルト人(ブリトン人)の英雄アーサーと
聖杯をめぐる“円卓の騎士”の物語。

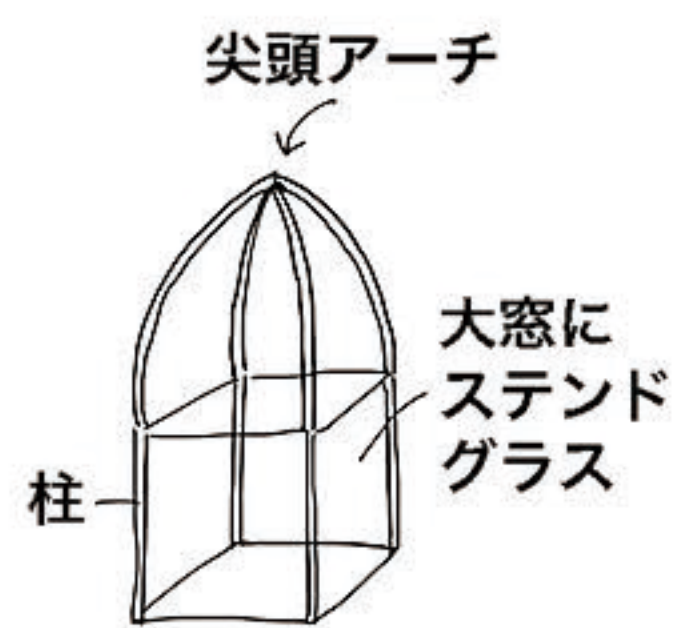
中世の教会建築



ビザンツ式
(東ローマ風)
ハギア=ソフィア聖堂



ロマネスク式
(ローマ風)
南欧に多い。
ピサ大聖堂



ゴシック式
(ゴート人風)
北欧に多い。
アミアン大聖堂

☆²⁶ 式(南欧が中心)

：半円アーチ、壁面に彫刻。



▲伊²⁷ 大聖堂

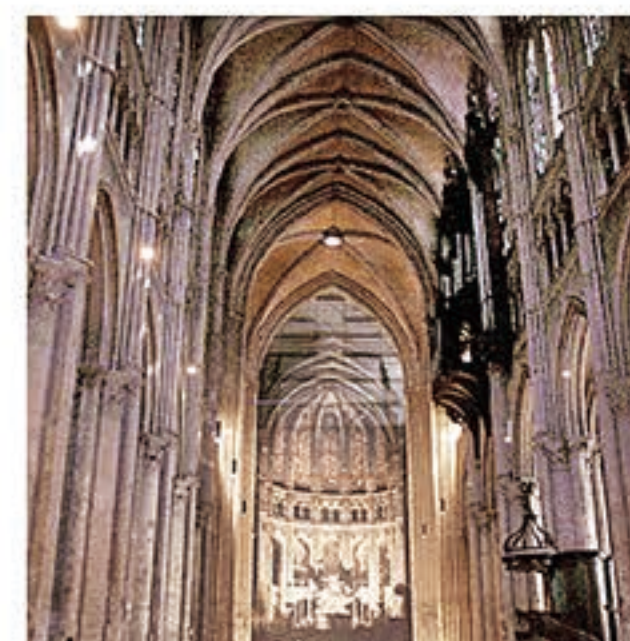


☆²⁸ 式建築(北仏・独が中心)

：尖頭アーチで高層化。窓にステンドグラス。



▲仏シャルトル大聖堂



▲同内部



▲仏²⁹ 大聖堂



▲独³⁰ 大聖堂

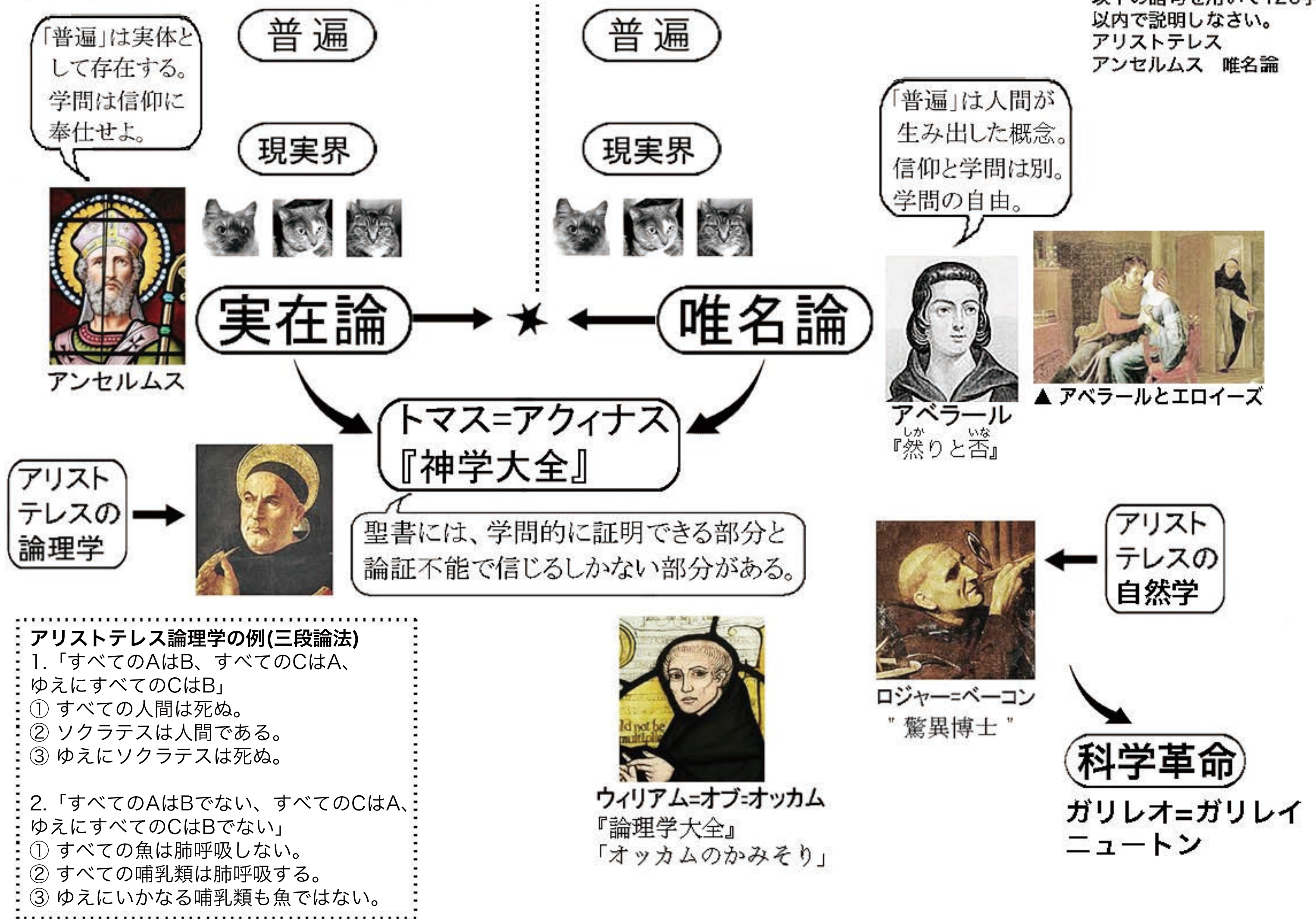
(解答) 12 实在 13 アンセルムス 14 唯名 15 アベラール 16 トマス=アキナス 17 神学大全

18 ロジャー=ベーコン 19 ウィリアム=オブ=オッカム 20 ニーベルンゲンの歌 21 ローランの歌

22 アーサー王物語 26 ロマネスク 27 ピサ 28 ゴシック 29 アミアン 30 ケルン

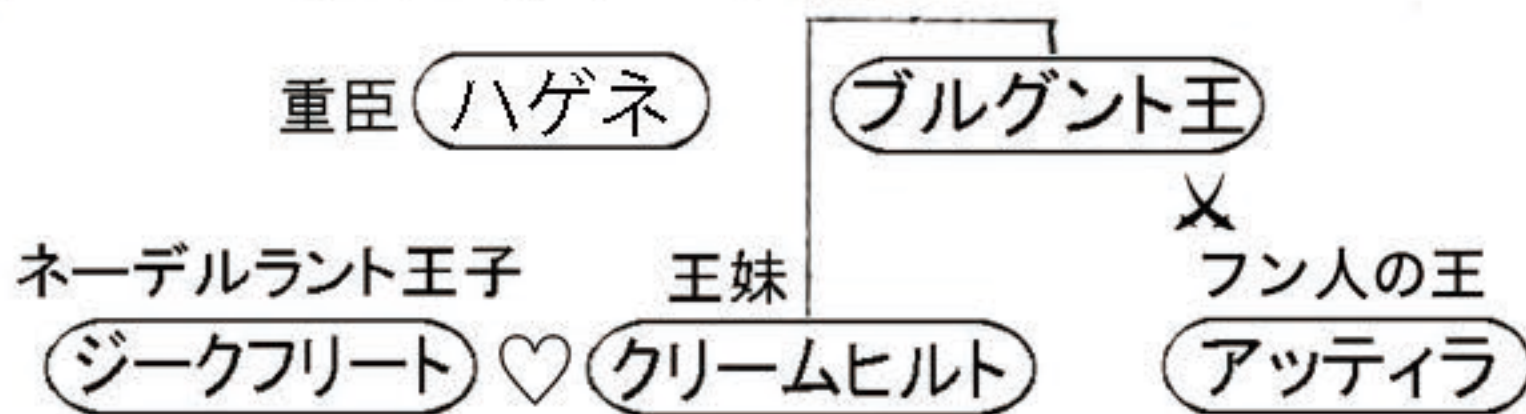
普遍論争(スコラ学)…「普遍」は実在するか？

スコラ学の展開について、
以下の語句を用いて120字
以内で説明しなさい。
アリストテレス
アンセルムス 唯名論



中世ヨーロッパ文学

『ニーベルンゲンの歌』



▲ 竜を倒すジークフリート(左)
ジークフリートの死(右)

『アーサー王物語』

ブリトン人
(ケルト人)

アーサー王

円卓の騎士



▲ 聖剣
エクスカリバー



▲ 聖杯を囲む円卓の騎士

『ローランの歌』

フランク王国

カール大帝

甥のローラン



▲ 角笛を手にするローラン

イスラーム教徒

後ウマイヤ朝

マルシル王

ローマ軍



（アングロ＝
サクソン人）

ドイツから侵入

撤収